第1回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 傍聴者からのご意見カード

「杉並区における話し合いの会」は私の感想としては、外環道について多くの 疑問が出されたが、充分な回答がなく納得の出来るものではなかった。 外環道路の計画決定のそもそもについてから、改めて説明が必要になってい る。 「話し合いの会」を充分、住民の意見を反映出来るように運営して欲しい。 又、3月11日大震災の経験を大都市において、都市計画、道路計画において 生かすことが求められている時に従来の計画について再検討すべきであると 思います。 1. 話し合いの目的は参加者から広く意見を聴きながら検討を進めるとある が、参加者に充分な意見を述べさせず質問の答えは、はぐらかしがほとん どである。 2. 司会者は公正、中立な立場で話し合いの会を司行する(運営要領)都側べ ったりであり、形式的に議事を進行することしか考えていない。司会者を 交代させるべきだ! 3. 平成14年11月の有識者委員会・最終提言及び、平成15年1月の国土交通 省・東京都連名の東京外かく環状道路に関する方針は公表(構成員に提示) すべきである。 外環の2は幹線街路というが資料 1-1 の 2P の説明の幹線街路のどれにあたる のか 資料 1-2 2P について昭和 41 年議事録の該当箇所を明らかにして欲しい。 平成13年4月のたたき台は国交省と都が示したもので、出す以上は検討を重 ねているはず。たたくのは国、都以外の者。その上で変更ならわかるが、たた かないうちに変更するのはどうしてか。 イメージというが、実際にはパンフの地下図についてイメージといっているだ けである。本線を地下にした理由は何なのか、国交省は説明せよ。 H13→H17 1月までに外環の2について議論していないのではないか。勝手に 国、都で条件をつけ、住民を惑わせるようなことはすべきではない。 石原都知事と扇国交省元大臣、さらにこれまでの担当者が出席すべきである。 ここまで進んでいるから過去は問題にするなと言うなら、不正なども不問にす るということになる、過去は大事である。これまでの国や都がしたことを見れ ば国、都の言うことは絶対に信用できない。概成道路を全て完成した上で杉並 区の道路を考えれば良い。外環の2は廃止してから考えるべき。 1. 都市計画道路は外環の2 地上部道路の他にも何本も予定されている。また この都市計画道路自体、数十年も前の計画であり、現今の人口動態、道路

需要予測も大きく変わってきているはずであり、東京都として、あらため て見直しを図るべきである。 2. 道路計画により大きく影響を受ける住民の意向を十分聴くべきである。地 元説明会を必ず開催するようにして欲しい。それは早い方が良い。 1. 2時間という短時間の会議なので、都市整備局の杉並地域に関する現状に ついての読み上げは必要ないと思う。 2. 会議に参加している、多くの他の方の意見も聞きたかった。 3. ○○、○○、○○さんの意見は大変興味深く、説得力があったと思う。司 会は時間を気にしすぎ 4. 決める会ではないと言いながら、地上部街路ありきの資料の進め方に疑問 を感じる。 5. 国、都の答えは納得できないものが多い、学習の要ありと感じる。 小口氏発言「これから住民の皆さんのご意見を伺って(外環の2)決めていく。」 では、以前に行った「意見を聞く会」は、なんだったのですか。 傍聴席の数より多くの資料を用意してください、お願いします。 小口氏発言「……問題ないものを発表…」はダメ。 委員の発言内容を正確に記録すべきである。 ・ この話し合いで出された意見は実際の計画に反映されるのでしょうか(反 映すべきだと思いますが) 議論が不十分で、行政側は逃げるための言い訳しかしていないような印象 を受けました。 住民側の意見も入れて、きちんと説明ができる専門家を選び、議論に加わ ってもらった方がいいのではないでしょうか。 「結論を出す会では無い」との事ですが、どの様な形でこの話し合いの会 の内容が反映され、また住民の意見が担保されるのでしょうか?又、議事 録は出されるのでしょうか?2回目以降も広報の徹底をお願いします。 ・ 議事を急ぐあまり、会に時間制限や発言の制約とも思える進行には反対で す。この公共事業は、国民の血税を使っての巨額な工事となるとの意識を 持って欲しいです。住民軽視です。 ・ 構成員の方々は(一部の住民を除く、特に東京都、国交省の現担当者)外 環の歴史を含め、今までの経緯をもっと勉強してからこの話し合いの会に 臨むべきです。外環①も PI 会議という新しい方式を導入しましたが、終わ ってみれば結局「着工ありき!」でした。住民は注意深く、油断無き様に 判断しなければなりません。一生の不覚を取ってはならないと思います。 内田翁以来、守られてきた善福寺地域の将来が掛かっています。 必要の有無をしっかり話し合っていただくこと 東京都の回答がまるでなっていない。 都は前の事情が解る、もう少し有用な人材を出して欲しいと思います。

話し合いの会になっていないと思います。
・ 6/29 の会合は都が仕切って強引に自分の案を通した経緯もあり、本当に住
民の意見を聞く気があるのか
・ 昭和41年からの歴史は、外環の2を検討する場合、不可欠。もっとしっか
り時間を取って欲しい
・ 有識者会議の提言、都、国の平成15年1月の方針が何故変更されたのか説
明をもっとしっかりやって欲しい
・ 住民の考えをよく聞いて皆の意見をきちんと出し合い、検討する時間を取
ってもいい。
・ 国、都のお役の方はあまりにも勉強不足です。
・ 司会者が時間、質問の回数を限定するのはおかしい、時間ばかり気にして
質問者に対する回答がきちんとされていない。
都は言い訳ばかりである。
・ 経緯に関しては、都市決定などの文章は手を加えずに、原文のまま載せる
べきである。
司会者の段取りが悪すぎる。事務局も含め、外環計画の経緯をもっと勉強して
から臨むべき。
・ 主人が出席したいので、平日の夜ではなく、土日に開催をして頂きたい。
・ 小さいお子さんがいらっしゃる方は平日の夜は出られなく困っていたの
で、やはり土日に開催をして頂きたい。
・ 街が出来てから、道路計画をつくるのは都市計画の順序が逆
・ 国交省は、杉並区民に対し再三にわたって外環道地下化後は、地上道路計
画はなくなる図を示して、外環道建設への同意を求めている(これは扇元
建設大臣、石原都知事の発言と合致するものである)
・ これに対し、東京都だけが地上道路の建設を企画して、ひとり横車を押し
通そうとしている。
・ 以上の現状に際し、我々は国交省が東京都に対して外環道地下化の主旨(何
のために地下化したのか)、ならびに経緯を十分に説明し、地上計画を断念
するよう指導することを強く求める。
・ 司会者勉強不足、力不足→他地区の司会者に学んで欲しい。
・ 司会者は適任ではない、公平ではない!!質問数を制限するのはおかしい、
住民の方を向いていない。
・ 都は「外環の2」を造ることを前提とした発言としか思えない。決して3
つの選択肢があるように思えない。
・「No IC」で地下にもぐった外環本線は何の為だったのか?「地上部に外環
道を造るのは難しい」と、判断したから地下になったはず!きちんと3つ
の場合を議論するつもりがあれば、住民の質問にきちんと答えて向き合っ
て話をして欲しい。

- ・ 都市計画決定の資料は、ないはずがない! 都は逃げないで、きちんと資料 を公表すべき。フェアな立場を切に求めます!!
- ・ 司会者が一方的に住民意見を途中で切るのは論外!!中立公正であるべし!行政の味方になっているのがあからさまだ!司会者の交代を求める。
- ・ 司会者は皆を把握できるよう立ってやるべし!
- ・ 都は、都市計画決定された書類をまず示すべき。街づくりにふさわしい道路の話し合いをさせたがっているが、それでは道路を作る事が前提ではないか!!③の話し合いを充分する事は絶対に必要であり、なぜ先へ進めたがっているのか?ボロを出さないためという事がハッキリ見て取れる。外環の2が出来るとこんなに良くなりますよという意図的な説明はずーっと行政が使っている悪質なやり方=住民の声を聞きましたというアリバイ作りに利用されたら不本意である。行政はズーッとウソ付き!!原発と同じである。
- 傍聴者の意見も含めた意見のまとめを出して欲しい。
- ・ 話し合いの会について=ご意見カードを出すことで終わりには出来ない。
- ・ 議論を深める前に外環2を作りたいという意図がガンガン出ているぞ!!

(意見)

- ・ 議事進行ありきでの司会の進め方はまずい。意見があれば紙で出せ、では 公開の話し合いの意義が損なわれる。
- ・ ○○さん、○○さんが問題としている外環の2の計画決定の経緯は重要だと思う。小口さんの言う「都が」「組織としてこう思っている」「こう考えている」といった立場の発言は、存立基盤を問いている者に対して失礼ですらある。
- ・ やはり、大きな問題は外環本線が地下化決定されたことに起因する。代替機能云々の議論は高架式が潰れた理由を考えると、あまりに説得力に欠ける
- ・ やはり、41年以降の経緯の説明はしっかりすべきである。そうした歴史の 共有なしに民主主義はありえないと考える。
- ・ 小口氏の口論からは、やはり道路整備ありきの視点しかないのがうかがわれる。道路を整備する、そのために「ご意見」を伺うという姿勢であり、悲しいことに話し合い参加者、傍聴者すべてにそれが透けて見えてしまっていますよ。

(要望)

- ・ 委員の方々が質問し、宿題、課題となった項目について、確実に次回、何らかの形で実りのある解答をお願いしたい。外環本線の時もそうであったが「検討しておきます」の連発では、まとも且つ誠意ある解答とは言えない。
- とにかく、司会は変えた方が良い

- □司会者
- ① 公正中立の立場を逸脱
- ② 発言者に時間、回数制限を加えるべきではない
- ③ 司会者が自分の意見を述べるのは不可
- ④ 司会者は任にふさわしくない。交替を!

□会の運営

- ① 「話し合いの会」なのに、「ご意見カードを書いてくれれば返事する」「時間がないから、ご意見カードを書いてくれ」というのは構成員、傍聴者を 愚弄している。会の席で丁寧に議論してこそ「話し合いの会」
- ② 都はこの会を早く済ませようと考えているが、住民には生活基盤に関わる 重大事。都は十分な検討を尽くすよう態度を改めるべき

□議論していく上で

- ① 外環の2は計画地内のみならず、周辺住民にとっても大事な影響を及ぼす 計画。それだけに1966年当時凍結措置となった。このような経緯をすべて の構成員が理解し、共有した上で、会は進められるべき
- ② 2003 年、都、国は「地元の意向に沿って地上部を考えるとの方針を出している。地上部はこの時点でまっさらの白紙になっている
- ③ 地元住民の多くは計画に反対している。杉並区は本線地下化となった経緯 を踏まえて「必要性の有無」からの検討を要請。都の「道路ありき」の姿 勢は即刻改めるべき
- ④ 1966年当時、この計画には防災、環境、ライフラインなどの思想があったと都の発言。都市計画旧法時代、この思想はどのような文書記録としてあったかを示すべき
- ⑤ 外環本線は地上にできないから地下にしたのではないか?それ以外の理由 があるなら、国、都は明解に示すべき。根拠になる記録も必要。
- ⑥ 外環の2ネットワークは埼玉~練馬掘割部分で途切れている、これでネットワークと言えるのか

会を傍聴して、強く印象に残ったのは、拙速な議事進行、強引なやり方であるである。会冒頭の野崎部長発言は第1回にして反故となった。誠実、真摯に住民と向き合うこと、外環及び外環の2のこれまでの経緯をないがしろにしないことを構成員のみならず、住民に約束して欲しい。

尚、私は氏名が公表されることに異存がないことを申し添えます

① この会は「話し合いの会」と名付けられているにも関わらず、「ご意見カードに書いてくれれば返事する」あるいは「時間がないからご意見カードに書いてくれ」というのは、あまりに構成員、傍聴者を愚弄している。外環の2の必要性の有無に関わる重要な論点、疑問をご意見カードに済ませるなどとは、あってはならない。会の席上「参加者全員が情報を共有して、

- 丁寧に議論を積み重ねていくことが大切だ。
- ② 地元住民の多くは外環の2計画に反対している。杉並区は本線が大深度地下となった経緯を踏まえるならば「必要性の有無」から検討すべきとしている。このような現状から道路ありきという東京都の姿勢は即刻ゼロからの議論に転換するように求める。しかも、今まで外環の2に関する住民への説明会を一度も正式に開いたことがないではないか。